

日本共産党 3月蕨市議会報告



改修工事が終了したわらび公園を視察（左から梶原、志村、鈴木、山脇各議員）

蕨市議会は3月25日、市長
提出議案29件の採決が行われ、
全会一致可決、1件が賛成多

市長提出議案はすべて可決 公共施設の耐震化進む 特養ホーム、障害者グループホーム、 認可保育園が来年4月にオープン

蕨市議会は3月25日、市長提出議案29件の採決が行われ、全会一致可決、1件が賛成多数で可決しました。2面・3面で、新年度予算等の内容をお知らせしています。日本共産党蕨市議団が市民の要望を議会等で届けてきたものが、たくさん実現しました。

消費税増税は市財政にも影響

消費税が4月から8%に引き上げられて、市民のくらしは非常に厳しくなることが予想されます。そのため蕨市長は、国保税の税率を引き上げずに県下最低水準にとどめることや、就学援助の所得条件を拡大して受けやすくなるなど、市民のくらしを支える対策をとりました。また、各種使用料・手数料への消費税増税分の上乗せについては、公民館や勤労青少年ホーム、学校、プールなどの使用料については引き上げない措置をとりました。

消費税増税による市への影響額は、市の持ち出しが1千万円以上多くなる（企業会計を除く）見込みであり、市財政は厳しくなります。市民の願いを反映した請願・陳情に、新生会と公明党はすべて反対

今議会に5件の請願・陳情が出されました。結果は左の表の通りです。

【表】請願・陳情に対する各会派の態度 (○=賛成、×=反対、△=退席)

	共産党	新生会	公明党	民主党	無所属	結果
重度障害者医療費助成に年齢制限を導入しないよう求める請願	○	×	×	△	○	不採択
労働者保護ルール改悪反対を求める請願	○	×	×	○	○	不採択
最低賃金の改善を求める請願	○	×	×	○	○	不採択
介護保険要支援者への保険給付継続を求める陳情	○	×	×	○	○	不採択
特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める陳情	○	×	×	○	○	不採択

2014年度予算でたくさんの市民要望が実現

◆公共施設の耐震化を推進

◎さくら保育園の耐震化工事（保育園の耐震化がすべて完了）

◎南・東公民館の耐震設計（工事は来年度の予定）

◎北町コミュニティセンターの耐震診断（来年度に設計、工事は再来年度の予定）



さくら保育園

度）する制度を創設しました（賃貸住宅は県の制度が利用可能）。

◆木造住宅耐震診断補助の拡充
木造住宅の耐震診断の補助率を2分の1から3分の2へ引き上げ。

◆防災行政無線を改善
防災行政無線の難聴地域対策として、スピーカーの増設や方向修正などを行う。

◆衛星電話を整備
衛星電話8台を整備し、災害時の連絡体制を強化します。

◆内水ハザードマップの作成
集中豪雨などの際の、浸水・冠水被害についての想定を示す内水ハザードマップを策定します。

に建設されます。来年4月に開園。

◆DV被害者緊急一時保護事業
DV被害者等への対応で、シエルトが確保できない場合に、緊急一時的に市が保護します。

◆就学援助の対象者を拡大
国の生活保護費引き下げを反映させず、2013年度当初の所得基準で認定審査を行います。さらに借家世帯は新たに月6万2千円を上限に家賃相当額を所得基準に上乗せし、対象世帯を拡大します。

◆関東大会等に参加する中学生の宿泊費を補助

◆地域防災計画を見直し
東日本大震災の教訓を踏まえた法改正や県の地域防災計画の修正に合わせて見直します。

◆エアコンの改修を実施
総合社会福祉センター、北町コミュニティセンター、保健センター、歴史民俗資料館などのエアコンを改修します。

◆全小中学校に防災教室設置
災害時の避難所になる全小中学校に防災教室を設置し、防災備蓄品を整備します。

◆自主防災リーダー養成
昨年度に引き続き自主防災会のリーダー養成講座を開催。図上訓練、避難所運営訓練等を行います。

関東大会や全国大会等に参加する中学校の選手等の宿泊費を補助し、保護者の負担を軽減します。

◆35人程度学級を継続
小学校の学級人数を35人以下にする（12月10日が基準日）ために、市独自に教員を採用し、西小の5年と6年、南小の3年と5年、北小4年に配置します。

◆全小中学校で土曜塾を開催
現在の3名を5名に増やし、1校につき週2日勤務します。環境整備、図書ボランティアの調整も行います。

◆地域経済を応援！住宅リフォーム助成

昨年度は予算を上回る189万7千円を活用（27件）。これによる市内業者受注額は4940万円。今年度も150万円を予算化。

◆わらびりんごによるまちづくり

わらびりんごを使う商品開発を推進し、今年度はわらびりんご味サイダーの試作品製造を予定。



わらびりんご（13年6月）

◆音楽によるまちづくり推進へ
音楽によるまちづくり事業（来年度から実施予定）を進めるため、市内の音楽家や公募市民などによる懇談会を設置します。

◆市民参画・協働の推進

市民参画・協働を推進するため「みんなで創るわらび推進条例市民懇談会」を設置。協働事業提案制度も引き続き推進します。

◆地球温暖化対策補助金

昨年度は太陽光発電25件、燃料電池40件、雨水貯留施設17件に補助。今年度も500万円を予算化。

◆公共スポーツ施設のインターネット予約が始まります

来年度2月から、富士見野球場、塚野球場、富士見テニスコート、錦町スポーツ広場のインターネット予約が開始されます。

◆東口コミュニティ・ショッピング道路の整備方針を検討

蔵駅東口商店街の賑わいづくりのための道路の基本整備方針を検討。市民ワークショップを開催す

るなど地域の意見が生かされます。

◆中央第一地区のまちづくり
地区計画による新たなまちづくりが始まります。道路幅員に向けた測量などがスタートします。

◆錦町区画整理事業の推進

今年度も一般会計からの繰出金を増やし、事業の推進を図ります。今年度末には建物移転で58・8%まで進む予定です。

◆路面性状調査を実施

錦町区画整理区域を除く、道路の路面状況を調査し、今後の道路補修に生かします。

◆財政健全化のいっそうの推進

昨年度、土地開発公社経営健全化9ヵ年計画を策定。今年度は公社の債務を含め市全体の借金を3億7600万円減らします。

悩み・困りごとは日本共産党にご相談ください

事務所 ☎ 443 - 8332 FAX 444 - 6531



志村しげる



やまわき紀子



鈴木さとし



かじわら秀明

4月の市民相談
23日(水)午後1時～3時

5月の市民相談
14日(水)・28日(水)午後1時～3時

場所はいずれも
市役所4階
日本共産党議員控室
☎ 432 - 3590

生活保護制度の親族扶養調査は慎重に

【議員】生活保護法が「改正」された。制度を使いにくくしてはいけないと国民の大きな批判があった。

【部長】扶養義務調査は一律に実施はせず、要保護者の実情を聞き、家庭状況に配慮しておこなう。申請を躊躇しないよう、慎重に対応する。

感震ブレーカーの普及啓発を

【議員】揺れを感知し電気を切る感震ブレーカーを普及すべき。

【部長】出火防止上有効な対策とされているので、設置を推進したい。

防犯カメラに適正な運用基準を

【議員】街中に防犯カメラがあふれ、

プライバシー侵害の危惧を弁護士会などが指摘している。蕨市では、基準を定めて運用すべきだ。

【部長】商店街設置のカメラは、運用基準の作成について市が指導している。プライバシー保護は必要だ。学校・「くるる」・市民体育館等は不審者対策のため設置している。一定

のガイドライン（基準）は必要だ。

東口シヨッピング通り

【議員】整備方針について



安心して買い物できる道路へ



【かじわら秀明のプロフィール】

- 1962年墨田区生まれ。東京農工大学卒。沖電気などに勤務。
- 市議3期。蕨市国民健康保険運営協議会委員。市立病院審議会委員。中小企業診断士。
- 北町1-21-19。Tel・Fax：447-1928
ホームページ jcp-warabi.jp
メール kajiwara@jcp-warabi.jp
Twitterで情報発信中。
@KajiwaraHideaki

行政相談・法律相談はいつでもどうぞ

予算化または実現した地域要望

市長の思いはどのようか。
【頼高市長】賑わいをうながし、安心で楽しく買い物ができる空間にしたい。放置自転車などの景観上の課題解決にもつなげたい。

北町

●北コミのエアコンを改修●二中体育館改修・さわやか相談室にエアコン設置●北町1丁目の雨水調整池が3月に稼働開始しました。集中豪雨時の家屋浸水を防ぎます



保健センター前に停留所ベンチが設置されました(昨年12月)

塚越

●駅前への放置自転車・防犯対策を実施●あさがお・ほおつき市への補助金を増額●交通安全診断を警察と協力して実施●塚越小学校のプールを改修



市民公園前横断歩道のボタンが車椅子でも押しやすいよう改善しました

日本共産党市議団の一般質問項目

志村しげる議員

- コンバクトシティ(蕨) 将来ビジョン実現計画について
- 複数年にまたがる計画の策定は、案の段階で議会で議論できるように
- 錦町区画整理事業の促進について



やまわき紀子議員

- 子ども・子育て支援新制度における問題について
- 福祉入浴券の利用拡充を
- 市民体育館のバスケットゴールへの対策を求める
- 不登校児童生徒の状況とさわやか相談室の充実を求める



鈴木さとし議員

- 子ども子育て支援新制度の下でも、留守家庭児童指導室の水準維持と拡充を。学校施設等への増設、指導員の体制・研修の充実などを求める
- 大雪による被害状況。対応と対策
- 自転車の安全対策について



3月市議会 鈴木さとし議員の一般質問

子ども子育て支援新制度でも、留守家庭児童指導室の拡充を

鈴木 新年度の留守家庭児童指導室（学童保育室）の児童数見込みは。

健康福祉部長 （市内9施設で）計465人の見通し。1施設を除き8施設で定員を超え、中央地区は定員40人に対し児童69人を見込む。

鈴木 子ども子育て支援新制度には、国・自治体の責任を曖昧にして後退させるなど問題点が多い。そのため、蕨市がどのような方向性をもって対応するかが重要。ところで、新制度で市の規定や運用はどう変わるか。

健康福祉部長 対象が小学6年生まで引き上げられた他、設備・運営基準を国の省令に基づき市町村が条例

で定めることとなった。基準について、国は従事者の資格なども検討していて、市も対応が必要と考える。

鈴木 待機児童を出さない、既存9施設の直営、開室日数や延長保育などの運営水準は維持すべき。

健康福祉部長 維持の方向で検討。

鈴木 国などの基準では40人が保育の単位。一方、蕨市では40人を超過する指導室が多い。対象学年が広がることもあり、学校敷地内も含めた増設が必要と考えるがどうか。

健康福祉部長 法改正の対応も含め増設など必要な場合に検討したい。

鈴木 指導員体制について、常勤職員の配置や研修の改善など拡充を。

健康福祉部長 今後の議論や省令なども踏まえ対応。研修の拡大も研究。

大雪への対応、対策など

鈴木 公共施設の構造など、降雪被害の影響を考慮し再検討する考えは。

都市整備部長 国の動向も見極め、今回の大雪踏まえ、改修の際に安全性向上に必要な研究検討をしたい。

自転車の安全対策

歩道上の通行を中心に

鈴木 自転車が行き可能とされる歩道は市内にどの程度あるか。

市民生活部長 10路線13か所。事故の発生が著しい場所については、指定の見直しや新たな指定、標識の増設など警察と協議したい。

鈴木 自転車通行可以外の歩道でも注意喚起の表示など必要。検討を。

蕨らっく「まちづくり」賑わいづくり

蕨駅西口では中央第一地区まちづくりで本格的着手、東口ではコミュニティショッピング通りが計画化されます。「わらびりん」事業の推進や空き店舗対策、リフォーム助成なども引き続き実施されます。共通するのは市民の意見や参加を大切にしていること。厳しい社会状況下でも着実にすすむ「まちづくり」「賑わいづくり」に期待が広がります。

日本共産党市議団の一般質問項目

志村しげる議員

- 「コンバクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画について
- 複数年にまたがる計画の策定は、案の段階で議会で議論できるように
- 錦町区画整理事業の促進について



やまわき紀子議員

- 子ども・子育て支援新制度における問題について
- 福祉入浴券の利用拡充を
- 市民体育館のバスケットゴールへの対策を求める
- 不登校児童生徒の状況とさわやか相談室の充実を求める



かじわら秀明議員

- 改正生活保護法のもとで、保護の申請を躊躇させないよう市の対応を求める
- 大地震対策。電気火災を防ぐ感震ブレーカーの普及を
- 防犯カメラの運用基準
- 東口ショッピング通りの整備



【鈴木さとしのプロフィール】

- 1965年生まれ（48歳）
- 市議3期 党市議団幹事長 総務常任委員会委員
- 家族は 妻、子（15歳、13歳、9歳）
- 中央5-9-7 電話 444-6957
- 主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目、中央1丁目1~15、23~35、3・4・5丁目

Twitterは@suzuki719
Facebookでも発信しています

生活相談などお気軽に

3月市議会 志村しげる議員の一般質問



【志村しげるのプロフィール】

- 1950年（昭和25年）4月、蕨市で生まれる
- 現在＝市議9期、日本共産党蕨市議団団長、環境福祉経済常任委員、議会運営委員、議会改革推進特別委員会委員
- 錦町4-8-5 電話441-0265
FAX441-0269

生活相談はいつでもどうぞ

「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画について

【志村】 実現計画案をすべて読んで、分かりやすかった。計画案を策定するにあたって重視した点は何か。

【部長】 市民に分かりやすい計画づくりを目指し、施策の目標を明確に示すため、全ての施策に指標を設定し、指標の現状値や目標値を積極的に情報公開するなどした。

【志村】 パブリック・コメントに対する回答は、どの部署で検討したか。

【部長】 実現計画案に13人から75件の意見をもらった。各担当課で回答案を作成し、政策企画室と調整し、長期計画策定委員会で決定した。

【志村】 私は42項目の意見を出し、

22項目が採用されたが、不採用の項目の中には議論が必要なものもある。

例えば「重点プロジェクト5」で掲げた指標について、「リサイクル率を高める目標」より「市民1人あたりのごみの量を減らす目標」のほうがいいとの意見を出したが、かみ合った回答がされなかった。案の段階で議会で議論する考えはなかったのか。

【部長】 議会各会派に案の概要説明を行い、そのときの意見も反映した。

複数年の計画の策定について

【志村】 平成26年度に策定する計画で、複数年にまたがるものは何か。

【部長】 次期行政改革プラン、蕨市障害者計画、子ども子育て支援事業計画、第6期蕨市高齢者福祉計画・

介護保険事業計画などがある。

【志村】 パブリック・コメントでは回答に対する再質問ができないし、会派への説明では、すぐに意見を言えない。パブリック・コメントの時期を早くし、案の段階で議会で議論する機会をつくるべきだと思うが。

【部長】 今後、計画の策定スケジュール等を考えていく中で、いまの意見も参考にし、適正な時期にパブリック・コメント等を行っていく。

錦町区画整理事業の促進を！

【志村】 錦町区画整理事業は家屋移転が始まって27年になるが、着実に進んでいる。平成26年度からの5年間の家屋移転は何戸を計画しているか。

【部長】 これまでと同じく年間30棟、5年間で150棟の移転が目標。

【志村】 最近では計画戸数より実施戸数が少ないが、理由は何か。

【部長】 東日本大震災の復興事業などの影響もあり、国庫補助金が要望額に対して大幅に減額となったこと。

【志村】 市長は、平成24年度末に新たに8戸の家屋移転の予算を追加し、事業推進に努力している。今後も計画通り事業を進めるよう要望する。

【市長】 市長になって7回目の予算編成だが、毎年一般会計からの繰出金を前年より増やしている。今後も事業の着実な推進に向け努力する。

日本共産党市議団の一般質問項目

やまわき紀子議員

- 子ども・子育て支援新制度における問題について
- 福祉入浴券の利用拡充を
- 市民体育館のバスケットゴールへの対策を求める
- 不登校児童生徒の状況とさわやか相談室の充実を求める



鈴木さとし議員

- 子ども子育て支援新制度の下でも、留守家庭児童指導室の水準維持と拡充を。学校施設等への増設、指導員の体制・研修の充実などを求める
- 大雪による被害状況。対応と対策
- 自転車の安全対策について



かじわら秀明議員

- 改正生活保護法のもとで、保護の申請を躊躇させないよう市の対応を求める
- 大地震対策。電気火災を防ぐ感震ブレーカーの普及を
- 防犯カメラの運用基準
- 東口ショッピング通りの整備



3月市議会 やまわき紀子議員の一般質問

◆保育行政について

【山脇】 新年度の不承諾者数は。
 【健康福祉部長】 不承諾者は149人（0歳18人・1歳60人・2歳42人・3歳26人・4歳2人・5歳1人）。

【山脇】 「子ども子育て支援事業計画」は、子どもの保育を受ける権利の確保と充実のために、児童福祉法第24条1項の意義に基づいて保育所を守り発展させる計画となるか。

【部長】 国の基本指針においても、ニーズ調査等を踏まえ、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを推計し、具体的な目標設定を行うとされていることから、本

市のニーズに応じた必要な保育等の供給を目指す計画となるよう努める。

◆福祉入浴券の利用拡充を

【山脇】 市民の利便性向上のために、戸田市内の浴場などの使用も認めていく考えはないか。

【部長】 市内の公衆浴場の経営に影響が及ぶことが懸念されるため、現時点では考えていない。

◆市民体育館のバスケットボール破損事故について対策を求める

【教育長】 バスケットボールの搬出入において破損事故が発生している



【やまわき紀子のプロフィール】

- 1972年わらび生まれ、わらび育ち。東京家政大学卒。
- 現在、市議4期目。環境福祉経済常任委員会委員長、原水爆禁止茨市協議会副会長、子ども会役員など。
- 住所 南町2-31-14、TEL・FAX446-3129。
- 主な活動地域は、中央1丁目16~22番地、南町全域。

困りごとや市政への要望など
 ご相談お受けしています

フェイスブックでも発信中

新年度予算にもりこまれた地域要求

- 南小学校のベランダ手すり改修
- 第一中学校のトイレ改修、防犯カメラ設置、さわやか相談室へクーラー設置
- 学校図書館教育支援員を5名に増員、米飯給食食器の購入
- 南公民館の耐震補強工事設計委託（次年度工事予定）

状況を踏まえ、利用者向けに注意喚起の張り紙の掲示や窓口での口頭による周知のほか、体育館職員の立会いや倉庫内収納スペースの工夫を施す等により事故防止に努めていく。市としては、新年度に扉の修繕を実施し、保険についても検討する。

◆不登校児童生徒の状況とさわやか相談室への利用増加に伴う対策は

【教育長】 増加した場合でも、利用待ちといったケースが生じないよう、教員や支援員の協力を得ながら、相談員の負担を軽減するとともに一時的余裕教室等を活用し、生徒の相談に応じたり学習指導にあたる。

日本共産党市議団の一般質問項目

志村しげる議員

- 「コンバクトシティ」将来ビジョン実現計画について
- 複数年にまたがる計画の策定は、案の段階で議会で議論できるように
- 錦町区画整理事業の促進について

鈴木さとし議員

- 子ども子育て支援新制度の下でも、留守家庭児童指導室の水準維持と拡充を。学校施設等への増設、指導員の体制・研修の充実などを求める
- 大雪による被害状況。対応と対策
- 自転車の安全対策について

かじわら秀明議員

- 「改正生活保護法」のもとで、保護の申請を躊躇させないよう市の対応を求める
- 大地震対策。電気火災を防ぐ感震ブレーカーの普及を
- 防犯カメラの運用基準
- 東口ショッピング通りの整備

